

全自衛隊隊員の皆様へ

東日本大震災、津波、原発事故に関しまして、驚く程の早さで、被災地入りし救命、救援、救助等の活動をして下さり誠に有難うございました。速やかに統合任務部隊が編成され災害派遣活動にご尽力下さり、又日々努力訓練されていたことを実感しました。

強靱で、そして何よりも人として心優しく暖かく慈愛に満ちた隊員の方々の姿に、福岡県防衛協会女性部会の一員として研修、応援、支援させて頂いた事に深謝致します。

今回現地派遣されず、自隊にて国防・国民安全の為に日々お勤めされた方々も大事な要です。本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

(宮古島や甕島のレーダー監視を昼夜間わず頑張っておられる隊員の方々もいらっしゃいます。)

皆様が各々職務を確実に遂行されているから現地入りされた隊員の方々も力を発揮できたのではないのでしょうか。

いつ何時、何が起こるかに備えて.....

日本が誇れる自衛隊員の各々の想いが一つになり、そのひたむきなまでの勇姿が被災地の方々の生き抜く勇気と希望に繋がったのではないのでしょうか。

今年4月中旬ある団体の全国セミナーが福岡県で開催されました。岩手県、宮城県、福島県の主な方が涙ながらに現状を説明されました。「自衛隊の皆さんは本当にありがたかった。これ以上何も言うことはない位に本当に良くして頂いた。」と語られました。

私も嬉しく隊員の方々へ伝えますとお話致しました。

(私見)

自衛隊員に女性を増員して頂ければと願います。

男性よりも能力をより発揮できる部署が必ずあります。

災害時には女性ならではの気配り、思い合い、活動が国民にとってはありがたい場合もあるのではないかと思料します。

また、今後あらゆる事態にそなえて、国民一人一人が災害時対応基本研修(講習)を学んで頂きたい。

それにより一人でも多くの尊い命を救うことができると思料致します。

個々ではなく、行政、自衛隊、警察、消防、医療、企業等が連帯して、より強固な危機管理体制を構築する必要があると思料致します。

そう遠くない昔、私の母は女学校でグライダーに乗って演習していたそうです。

驚きですが、事実です.....

福岡県防衛協会女性部会
副会長 手島 千恵子

